

# 会員通信

2024.10  
Vol.46

- ノーマークには要注意!  
盲点になりがちな漢字とは…………… 1
- ネットワーク会員に聞きました!  
「漢字にハマった瞬間」…………… 2・3
- 第38回 研修会報告  
書籍紹介…………… 4・5
- 漢字の小径(コラム)…………… 6
- サポーターリレーコラム…………… 7
- 投稿募集…………… 8

## ノーマークには要注意! 盲点になりがちな漢字とは

1級・準1級合格に向けての学習では、配当漢字の読み・字義、熟語を学ぶことは避けられません。とにかく数が多い1級・準1級配当漢字の注力は欠かせませんが、例えば漢検1級の審査基準には「常用漢字を含めて、約6000字の漢字の音・訓を理解し、文章の中で適切に使える。」と…。そうなんです! 常用漢字も出題対象です。小学校で習う漢字、しかも常用漢字表内の読みのみで構成される熟語が出題される事もあるのです。小学校低学年の漢字は特にノーマークになりがちですが侮れません!

### 漢検準1級出題編

※問題形式は実際の検定と異なります

次の対義語・類義語を漢字で記せ。

対義語 ① 出仕 —  <sup>ち</sup>  <sup>し</sup>  
② 不実 —  <sup>しん</sup>  <sup>そつ</sup>

類義語 ③ 終日 —  <sup>じん</sup>  <sup>じつ</sup>  
④ 敬老 —  <sup>しょう</sup>  <sup>し</sup>

解答

- ① 致仕 ③ 尽日  
② 真率 ④ 尚齒

### 漢検1級出題編

※問題形式は実際の検定と異なります

次の故事・成語・諺のカタカナの部分を漢字で記せ。

- ① ウジサジ物言わず。  
② シュソクの頭目を扨ぐが如し。

解答

- ① 右次左次  
② 手足

【意味】①あれこれ。「右次左次物言わず」で、あれこれ文句を言わない、転じて全く口をきかない。  
②手や足で頭、目をかばうように、部下が主君を守ること。

1級でも小学校漢字、しかも1年生や3年生の漢字のみの熟語も出題されています。  
常用漢字だからと全ての熟語を知っている、という事ではないはず。1級や準1級の配当漢字だけでなく、  
常用漢字2,136字も一字ずつチェックしていく事が語彙の広がりに繋がります。



### 小学校で習う漢字は強い…

#### 熟語が無数にある10級漢字…

常用漢字、特に小学校1年生の漢字は、最初に習うだけあって基礎的な漢字が配当されています。それだけに造語力がとても高く、例えば「大」は『大漢和辞典』(大修館書店)では字義・字音や含まれる熟語の解説が90ページ以上にわたっています。また、『大之源』(角川書店)では、「大」を含む熟語は900語以上掲載されています。

#### 漢字は本当に終わりのない勉強の世界…

# ネットワーク会員に聞きました!

今回のアンケートテーマは「漢字にハマった瞬間」です。(回答者:68名)

## TV



### Qさまの漢字検定企画



#### 中国歴史ドラマ

熟語や四字熟語がよく出てくるので、知ってる言葉があるとますますドラマにハマリ、更に漢字にもハマるという無限ループ状態だった。



#### 平成教育委員会

宇治原さんと宮崎さんが難しい漢字の読みをいとも簡単に当てていたこと。なんでこんなの分かるの!?!と、高校生の時に感動して、私も漢字クイズに出演できるタレントになることを夢見て、大学1年時に漢検準1級を取得した。



### 東大王の漢字オセロコーナー



#### ネプリーグの漢字クイズコーナー

・終盤の問題ができるようになりたくて漢字の本を買って勉強するようになった。



・インテリ芸能人が難読漢字を答えていく姿に感動した。ビデオテープに録画し何度も繰り返し観ていた。この番組がきっかけで漢字にハマリ、2006年に漢字検定を初受検した。



#### オジンオズボーンの篠宮暁さんの動画

ビャンビャン麵のビャンの字が面白く紹介されていた。それで覚えることが出来て感動し、人に書いてみせると感心されるのでますます嬉しくなり、難しい漢字を覚えるのが楽しくなった。

## 漢字の魅力



「ト(ぼく)」というカタカナにしか見えない漢字を知り由来を調べると、昔の人々が物事をどのような目で捉えていたかが分かるような気がして、幼心にとても感動した。



大学生になり、レポートや論文等を書くときに、「為」という字をよく使うようになり、この漢字の美しさに惹かれた。



何気無く始めたボールペン字の講座を受講した影響なのか、自然と漢字表記を意識するようになった。



小学生の頃に使っていたノートの付録に、魚偏の漢字が3、40個載っていた。そこで寿司を「鮨」と一字でも表記できることに衝撃を受けた。



5歳のとき、カレンダーで曜日の漢字を見て、漢字がかっこいいと思った。



中学生の時に、「四月一日」と書いて「わたぬき」と読む名を知ったこと。その後も「柵」と書いて「しがらみ」と読むのが、自分が柵に引っかかってしがらみの中でもがいている姿が浮かび、漢字の面白さを再認識した。

## 教員



50歳を過ぎて1級に挑戦をした。小学生の頃、唯一先生に褒められたのは難しい文字が読めたことだったことを思い出し、諦めずに頑張った。



小学生のころ、漢字辞典に載っている画数の多い漢字をひたすらノートに書いているうちにハマった。そんな自分を見て漢検を勧めてくれた担任の先生には感謝。おかげで一級に合格した。



小3年時の担任の先生が何度か漢字しりとり大会を開催してくれたこと。勝つためにまだ習っていない漢字を覚えたり、語彙を増やしたりすることが楽しかったのを覚えている。



小3のときの担任の先生。先生が黒板に「木乃伊」と書いて、生徒に読めるか訊ねた。正解がなかなか出ない中、先生が「木乃伊とりが木乃伊になる」と少し加筆したことで自分は答えが分かり、正解できた。周りの子や先生にも褒められ、これがきっかけで漢字に興味を持ちました。



小学4年生の頃、担任の先生から「あなたは漢字の学習がクラスで一番」と褒められたことから、漢字そのものはもちろん四字熟語の意味や成り立ちを勉強するのが楽しくなった。

## 本



家にたまたまあった『大漢語林』をめくっていたとき、「中国簡化文字表」の簡略化された漢字に興味を惹かれた。



中学生の頃、芥川龍之介の本を読んでいて、「懶(ものう)い」という字を知りました。同じ意味でも、「物憂い」と書くよりも格式高く感じられますし、百年前の文豪が、その文字を当たり前のように使いこなしていたことに感動した。



中学生の頃、たまたま本屋で目に留まった準1級の問題集を開いてみた瞬間。日常で見かける漢字の多い2級までとは違い、自分の全く知らない漢字ばかりの世界に驚きと強い興味を抱きました。偶然にも今はその本屋で働きながら、1級の勉強に励んでいる。

## 『読めそうで読めない間違いやすい漢字』



• 幼い頃、祖母の家に遊びに行ったときにくれた一冊。  
※「林肯(リンカーン)」「閣龍(コロンブス)」などの外国人名の漢字は衝撃的で、帰りの飛行機で夢中になって読んでいた...今思えばあの一冊の本が僕の人生を大きく変えたのだと思う。



※「林肯」は中国語表記。日本語表記は「琳閣倫」。  
• 小学生の頃通っていたそろばん教室で見つけ、小学生の当時では知らない漢字だらけで漢字の世界の広さを知り、宇宙を冒険している気分だった。

編集部より  
コメント

ご回答ありがとうございました! 先生に褒められたり、テレビ番組を見たり、漢字の世界への入り口は皆さん被ることなく違って、読んでいて大変面白かったです。多かったテーマで区分して見ましたが、載せきれなかった内容はメルマガにてご紹介いたします!

次回のアンケートテーマは「『ここが面白い』1級・準1級の世界」です。回答方法は8ページをご覧ください!

## 研修会 報告

# 第38回 会員向け研修会を開催いたしました。

2024年7月7日(日)に福岡県福岡市にて、会員向け研修会を対面開催し、24名の方にご参加いただきました。ご講演内容を簡単にご紹介いたします。

## 「近代日本で起きた俗字と略字の変化」

熊本大学大学院 人文社会科学部准教授 山下 真里 先生



近代日本では、1つの漢字に複数の字体が使用されたり、俗字や略字に変化が起きたりするなど、現代とは大きく異なっていました。例えば、『西国立志編』(1870年)\*<sup>1</sup>では、「強」には「強」「𪛗」という2つの字体(図1)が、「算」には「算」「𪛗」という2つの字体(図2)が見られます。また、俗字や略字の変化では、「鉧」という略字が成立・展開する、「𪛗」とい

う略字が広く使用されるようになった後、衰退する、正字と俗字の関係にあった「𪛗・吊」が別字になるなどの変化がありました。このような近代日本の漢字字体について、今回は「鉧」「𪛗」「𪛗と吊」を例に紹介します。



図1「強」の字体 図2「算」の字体

### 「鉧」が成立・展開した背景

戦前までの日本では「鑛」が正字で、「鉧」は略字などと呼ばれていました。この「鉧」という字体は、鉧山関係の手書き文書を調査した結果から、明治時代以降に生まれたと考えています。ところでこのように明治以降に生まれた新字体は実は特殊で、その多くは江戸時代以前に生まれていました。それではなぜ、「鉧」は明治時代以降に誕生したのでしょうか。「鉧」が成立した背景には、明治時代に「鑛」という漢字の使用頻度が増加したことが関係しています。近代になると鉧業が発展し、それに伴って「鉧山」「鉧業」など「鉧」という漢字を含む鉧山関係の語彙が新たに作られ、使用されるようになりました。すると、「鉧」という漢字を使用する機会が増加します。「鑛」は画数が多い字体ですので、使用頻度の増加によって略字が必要とされたのです。

それでは、新たに誕生した「鉧」はどのように広まっていったのでしょうか。そのカギを握るのが、『友子』<sup>ともこ</sup>と呼ばれる、鉧山での技能の伝達や、事故や病気の際の共済、重病患者への寄付などを担う組織です。『友子』には浪人制度(一宿一飯の提供や就職の斡旋を行う)があったのですが、これを利用して、各地の鉧山を移動する鉧夫もいて、そのような鉧夫とともに「鉧」という字体が広まったのではないかと考えています。友子に加入する鉧夫が持ち歩いていた免状\*<sup>2</sup>には「鉧」と似た略字が使用されているものがありますし、鉧山を訪れた鉧夫が身元を記した浪人原籍簿や、『友子』同士の手紙でも「鉧」が使われています。このような資料から、友子に加入する鉧夫たちによって「鉧」が広まっていったことがうかがわれるのです。

### 「𪛗」が展開・衰退した背景

「𪛗」は、近代の日本で広く使用されていた「錢」の略字です。「𪛗」は、明治時代以降広く使用されるようになりましたが、その後、衰退しました。明治から昭和中期ごろという限られた期間に展開・衰退した背景には、金銭単位「錢」の制定と廃止がありました。明治4年「新貨条例」で金銭単位に「錢」が加わると、「錢」という漢字の使用頻度

が増加し「𪛗」も広く使用されるようになりました。しかしその後、物価の上昇により金銭単位は「円」を使用することが多くなり「錢」の使用頻度は減少、昭和28年に金銭単位「錢」が廃止されたことによって「𪛗」という略字も衰退しました。「鉧」の場合と同様に、略字「𪛗」の盛衰にも使用頻度の増減が関わっていたのです。

## 「弔」と「吊」が別字になった過程と背景

現代では「弔」は「とむらう」という意味、「吊」は「つる」という意味を持つ別の漢字ですが、明治時代には「吊」が「とむらう」という意味で使用される例が多数ありました。また、漢和辞典では「吊」は「弔」の俗字との記載があり、現代のように別字ではありませんでした。

それではどのようにして「弔」と「吊」は別字になったのでしょうか。これには正字の使用拡大という現象が関係しています。1800年代には「吊」が「とむらう」という意味で

使用される例が多く見られましたが、1900年代以降は正字である「弔」が使用されることが多くなりました。一方、「つる」という意味では「吊」という字の使用が継続していました。その結果、「弔」は「とむらう」意味、「吊」は「つる」という意味で使用されるようになり、それが定着したのです。なお、正字の使用が増加した背景には、小学校で教える漢字の一覧を示した「小学校令施行規則第三号表」（1900年）、漢和辞典の刊行などの影響が考えられます。

## 俗字と略字の変化の背景

ここまでみてきた「鉞」「戔」「弔・吊」の変化の背景を整理しましょう。まず、「鉞」「戔」の成立、展開、衰退の直接的な要因は使用頻度の増減でしたが、それを引き起こした背景には、鉞業の発展、金銭単位としての採用、物価の上昇がありました。また、「弔・吊」の別字化の要因は正字「弔」の使用拡大でしたが、その背景には国の教育政策や漢和辞典の刊行がありました。

このようにしてみると、近代の日本で起きた俗字と略字

の変化は、社会的な背景によって引き起こされていたことがわかります。ただし、近代だからこそ社会の変化と漢字の変化のつながりが見えやすいことも考えられます。江戸時代の社会の変化は、近代よりはわかりにくく、鎌倉時代、平安時代となると、それを知る術はさらに少なくなります。これが近代特有の現象であるかについては、今後も考えていきたいと思っています。

\*1 図1、2は『西国立志編：原名・自助論』第1編(国立国会図書館デジタルコレクション)による。

\*2 友子の身分証明書役割を持つ書面。さまざまな鉞山に行った際、『友子』であることの証明としても使用していた。

### 書籍紹介

## 『漢字文化事典』

丸善出版 2023年 日本漢字学会編  
本体20,000円+税 【投稿者】吉田敏治さま

定番の「漢字の形・音・義」に始まり、筆記素材やアジア各地の状況など、多様な内容の事典です。

記事243項目は、原則として2ページ見開きです。特定のテーマの現状を記事単位で確認することも、関心ある分野を節単位で概観することもできます。

さて、学校の国語教材は、平安時代と明治時代間の作品が希薄でした。本書は日本の漢字文化について、日本の漢字・漢語・漢文の推移を時代の切れ目なく36ページ説明する一方で、仮名の歴史を6ページ、日本特有の漢字の形・音・義の形成を20ページ説明します。納得しやすいでしょう。

**書籍紹介投稿を募集中!** 漢字・日本語に関する書籍で面白いと感じたものをご紹介します。  
挨拶文裏面の投稿先までお送りください。投稿内容:①書名 ②著者名 ③出版社名 ④発行年 ⑤お薦めの理由(250字以内)

小  
徑



漢  
字  
の

漢字研究の大通りから一歩わきみちに踏み込めば、また違った景色が広がっています。このコラムでは漢字文化研究所の研究員が「漢字の小徑」をご案内します。

漢字文化研究所とは、日本文化の側面から日本の漢字をつまびらかにする調査研究等を行うために、日本漢字能力検定協会内に置かれた組織です。



漢字文化研究所・研究員

伊藤 令子

## 「石鹼」と「しゃぼん」

私たちは日々の生活の中で、汚れを落とすために「石鹼」を使います。この物体をどうして「石鹼」という字で表すようになったのでしょうか？

「石鹼」という語を遡ってみると、明の本草書<sup>1</sup>である『本草綱目』巻七「土部」に「石鹼」が登場します。「石鹼」について『本草綱目』の編者である李時珍<sup>2</sup>は次のように解説します。

石鹼、出山東濟寧諸處。彼人采蒿蓼之屬、開窖浸水、漉起、晒乾燒灰、以原水淋汁、每百引入粉麩二、三斤、久則凝澱如石。連汁貨之四方、澣衣發麩、甚獲利也。他處以灶灰淋濃汁、亦去垢發麩。(石鹼は、山東の濟寧の各所から出る。その土地の人は蒿や蓼の類を採り、穴を掘って(それを入れて)水を浸し、それを漉して、晒し乾かして灰に焼き、原水で淋汁をとり、百引<sup>3</sup>ごとに小麦粉二、三斤を入れて、しばらくすると沈澱し凝固して石ようになる。これを汁とともにあちこちへ売ると、衣服を洗え、小麦粉を(発酵させて)膨らませることができるため、甚だ利益を得られる。他にかまどの灰でとった濃い淋汁も、垢を除き小麦粉を膨張させることができる。)<sup>3</sup>

現在「石鹼」という語が指す洗剤は、一般的には油脂を原料として作られています。これは西洋から伝わったものであり、もともと日本では「しゃぼん」と呼ばれていました。それと比較すると、前述の『本草綱目』に記された、灰や小麦粉を用いて作った「石鹼」は、汚れを落とす点は共通しますが、その原料は油脂を主とする「しゃぼん」とは異なります。では、日本において、西

洋由来の「しゃぼん」に、「石鹼」の漢字が当てられるようになったのはいつごろからでしょうか？

江戸時代の貝原益軒編『本草和名抄』<sup>4</sup>「土部」では、「石鹼」を『本草綱目』での意味に近い「波伊乃加多末里(はいのかたまり)」<sup>5</sup>とするとともに、「是蓋、今自南蠻來志也保牟之類耶(これは思うに、今南蛮より来たしゃぼんの類である)」と述べており、石鹼としゃぼんを区別しつつ、両者を同じ働きをするものと捉えたことがわかります。

その後平賀源内が編纂した博物書『物類品鑑』<sup>6</sup>巻一「土部」では、「石鹼、和名シヤボン、煉モノナリ。和産ナシ。蠻産、紅毛語セツブ、ラテイン語サボウ子ト云」と、「石鹼」の読みを「しゃぼん」とし、南蛮産であると解説しています。

さらに1830年に出版された随筆集『嬉遊笑覧』<sup>7</sup>巻三上「書畫」には、「眞のシヤボンは、本草土部に石鹼といふものなり。こゝにも蠻舶將來る灰色の煉ものなり」とあり、『本草綱目』の「石鹼」と南蛮の「しゃぼん」との混同が見られます。

以上のように、中国由来の「石鹼」と南蛮由来の「しゃぼん」は江戸時代において同一視されるようになり、「しゃぼん」は「石鹼」という漢字で表されるようになりました。そして明治以降「石鹼」はそのままだ「せつけん」と読まれるようになったようです<sup>6</sup>。実際に明治～大正の広告を探してみると、「石鹼」に「せつけん」のふりがなが打たれているものを確認することができます。

1. 葉の原料となる動植物、鉱物やその用法・効果等を記した書のこと。  
2. 「引」は重さ二百斤を示す単位。(『新註校定国訳本草綱目』第7巻「土部」(春陽堂書店、1979年)137頁を参照)  
3. 和訳にあたり『新註校定国訳本草綱目』(前掲2)、136～137頁を一部参照した。本文中の「淋汁」とは、灰を水に溶かした際の上澄み液のことかと思われる。このような「灰汁」は、アルカリ性であり、洗剤として用いられてきた。  
4. 明治44年に刊行された『益軒全集』巻6に収録。  
5. 「しゃぼん」と「石鹼」の混同については、小林良正「石鹼の歴史」本篇第一期第一章「石鹼の渡来」(河出書房、1943年、103～107頁)を参照した。  
6. 前掲6、106頁参照。

# 漢字教育 サポーターリレーコラム

第22回

このコーナーでは、リレー形式で漢字教育サポーターの皆さまによる漢字や漢字教育活動に関するコラムを掲載します。第22回は埼玉県にお住いの大川 勇一郎さんにご執筆いただきました。

## 活動を振り返って

第10期漢字教育サポーター 大川 勇一郎

私は2023年度より漢字教育サポーターとしての活動を始めました。昨年度は2回、サポーター活動で小学校に伺いました。今年度も同じ小学校に12月に伺う予定です。講座内容は漢字や言葉を使ったゲームを行うなどして、子どもたちと楽しく漢字を学習しようというものです。

現在、高校で国語科の教員をしている私にとって小学生に向けた授業を行うことは未知の領域で不安もありましたが、児童が想像以上に楽しんでくれて、とても良い経験になりました。また、私が伺った小学校では様々な方がボランティアとして講座のお手伝いをしてくださり多くの方と交流を持つことができました。

日頃、中高生をメインに教えていますが、漢字学習は多くの学生にとって受験攻略のための「作業」になりがちです。だからといって、国語の授業の中心に漢字学習を据えることは実情として難しく、漢字学習の意義や面白みを伝えることに難しさを感じていました。ただ、このサポーター活動は「漢字学習」一つに絞って行えるため、とても有意義に感じています。やりようは十人十色ですが、私はとにかく受講者に楽しんでもらう講座を心がけています。自作の漢字ゲームや漢字クイズを作成するのも楽しみの一つです。

私自身、大学では国語教育に加え、漢詩の研究をしており、「漢字」に関して専門性の高い学問に取り組んできました。それを活用できるのも楽しみの一つになっています。

今後も、多くの受講者に漢字や言語学習に興味を持ってもらえるような講義が行えるように研鑽を積んでいきたいと思っています。

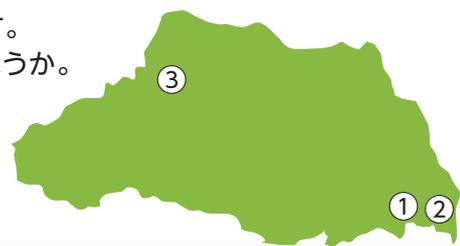


## 漢字クイズ 難読地名

埼玉県

今回は、埼玉県の地名を紹介します。  
以下の3つの地名は何と読むでしょうか。

- ① 榛松 (川口市)
- ② 圀 (八潮市)
- ③ 長瀬町 (秩父郡)



解答は8ページへ

# お知らせ

## 会員通信への投稿募集中!

会員通信を充実させるため、会員の皆さまからの積極的なご投稿をお待ちしています。

### 会員向けアンケート回答方法

#### 次のアンケートテーマ「**「ここが面白い」1級・準1級の世界**」

皆さんが考える、他の級取得者に伝えたい1級・準1級の魅力をぜひ教えてください。

右記の二次元コードを読み取るか右記のアドレスを入力し、2024年11月17日(日)までにご回答をお願いいたします。

[https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770\\_avy\\_894/index.do](https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_894/index.do)

※上記のアドレスにアクセスできない場合、メールにてお知らせください。郵送・FAX・メールいずれかの方法でアンケート用紙をお送りいたします。



### 1級に初めて合格しました!

あなたの合格体験が、1級を目指している方々の励みになります。どのようにして合格に至ったのか、「あなたの」体験をご投稿ください。

- 投稿内容：①合格時期  
②合格までの受検回数  
③合格に向けて工夫したこと、励みになったこと  
④合格した時の気持ち、感想  
⑤今後の目標

※文字数：項目①～⑤までの合計で500字以内  
 ※対象：これまでに1級合格経験のある方  
 ※当協会運営のWebサイト「漢字カフェ」に、お名前を伏せて掲載させていただく場合がございます。

### 投稿方法

- ①～④を明記し、メールまたはFAX、郵送にて下記の投稿先にお送りください。  
 ①会員番号 ②氏名(ペンネームも可) ③電話番号  
 ④各コーナーへの投稿内容やご意見・ご感想

投稿先 **日本漢字能力検定協会  
生涯学習ネットワーク担当**

メール：lifelong@ic.kanken.or.jp  
 FAX：075-532-1110  
 郵送：〒605-0074

京都市東山区祇園町南側551番地

次号の締切日：2024年11月17日(日)

※投稿・会員通信へのご感想は随時受け付けております。  
 ※お名前・ご連絡先を投稿される場合、掲載しても差し支えないかご確認ください。  
 ※ご投稿いただいた内容は、当協会運営のWebサイトに掲載させていただく場合がございます。  
 ※未成年の方は保護者の方の同意を得て、ご投稿をお願いいたします。  
 ※全てのご投稿を掲載、採用できるわけではございません。また、原稿は一部割愛・校正させていただく場合がございます。

### イベント告知

ネットワーク会員に向けて、漢字に関するイベントや学習会、研修会の告知ができます。

- 投稿内容：①日時 ②会場 ③内容 ④参加費  
⑤公開してもよい連絡先(メールアドレス・電話番号等)

※会員通信は6月、10月、2月に発行予定です。情報をお寄せいただいた時期によっては、会員通信ではなく、メールマガジンでのお知らせとなる場合がございます。

アンケートにご回答、もしくはご投稿いただいた方の中から抽選で3名の方に「**今年の漢字**」図書カード(500円分)をお送りいたします(当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます)。



### メールマガジン

#### 登録者募集!



漢検 生涯学習ネットワーク会員向けメールマガジンには登録されていますか?

外部講座や漢検の最新情報、漢字クイズなどの内容を月に1回程度配信しています。メディアへの出演依頼があることも!

メルマガ登録を希望される方は、生涯学習ネットワーク登録変更フォームから、「メールマガジンの登録」を「希望する」に変更してください。登録したけれどメルマガが届いていない、という方も再度ご登録してみてください。

[https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770\\_avy\\_103/index.do](https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_103/index.do)

### バックナンバー



会員通信のバックナンバーは、協会Webサイトで読むことができます! 見逃した号やもう一度読みたいコーナーは、こちらからご覧ください。

<https://www.kanken.or.jp/kanken/lifelong/news.html>

### 登録情報のご変更や退会を希望される方

右記のバーコードを読み取るか以下のアドレスを入力し、インターネット経由で手続きをお願いします。

インターネットからのお手続きが難しい場合には、裏面の用紙をお使いください。

※「会員通信」が不達となった方は、自動的に退会となってしまいます。

・登録変更URL：[https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770\\_avy\\_103/index.do](https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_103/index.do)

・退会URL：[https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770\\_avy\\_232/index.do](https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_232/index.do)



変更希望の方



退会希望の方



公益財団法人

**日本漢字能力検定協会**

本部 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地  
※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。

<https://www.kanken.or.jp/>



**0120-509-315**

月～金9:00～17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)  
※検定日とその前日の土・日は窓口を開設  
※検定日は9:00～18:00

